

めげないで！発信！ この場所から

道の駅あさじの前、牛の銅像の後ろに、朝地サンサン通り商店街がある。目立たないながらオープンから6年。私のお店「夢色工房」も、市に家賃を納めている。

半数は無休状態で頑張ってきた。応援・援助・補助は一切いただいたことはない。それぞれがコツコツと積み重ねた努力により、県内外からのお得意様も増えている。が、厳しい状況には変わらない。

だけど、それでも、めげない！私たちの夢を、ここから発信！ここに来て、この場所で感じ、味わってほしい。

気がつけば我が町も、無い物尽くしの取り残された地になりつつある。買い物する場所も手段もないお年寄り。祭りすら寂れた地域も。私の生まれた神楽の里も。

しかし、今年もう一度盛り上げるぞという熱意と試みが生まれた。私も出店、なのに雨が！でも、めげないぞ！めげないで！もう一度始めようよ。この場所から。立ち上がる仲間はずかにいる。

どうぞ、皆さん応援を。



あさじまち いちまんだ
朝地町市万田

ひらた
平田むつみ

現在を大切に生きる

いつの間にか70才を超えていた。精神面では、何時までも若くと思いつながりながら体力は衰え、母の姿に似てきたと友は言う。

牛乳にかかわり50年過ぎた。苦勞の2文字は忘れてしまった。少しスローになろうかと思うが、なかなかできない。

時代の流れとともに、次世代を担う若者は、生活の場を求め、ふるさとを後にした。

温もりのあった地域は、人口減と車社会で声かけも少なくなり、一人暮らしの高齢者は寂しく不安だともらす。

現に大野町にも限界集落がある。少ない子どもたちに夢を託したい想いで、今だからできることを考え、いろんな会の仲間に加わり、問題・課題の解決に向け、話し合える場を持たせたい。

商工会では、年2回のふるさと再発見のイベント。児童館職員と多くのボランティア仲間と収集している空き缶の収益は、すべて子どもたちに還元されている。

森林クラブでは、子どもたちと一緒に、森と水の大切さを学習し、いろんな体験をしている。

これからも多くの方々と喜びを分かち合えるよう、今を大切に生きている。

おののまち となが
大野町田中

わたぬま
綿貫ヨシ子



■広報編集特別委員会

委員長 高山 豊吉
副委員長 小野 泰秀
委員 佐藤 辰己
和田 哲治
香掛 義範
神志那文寛

傍聴にどうぞ！

12月定例会は、12月初旬に開会予定です。

詳しくは議会事務局 TEL 0974-22-1001へ